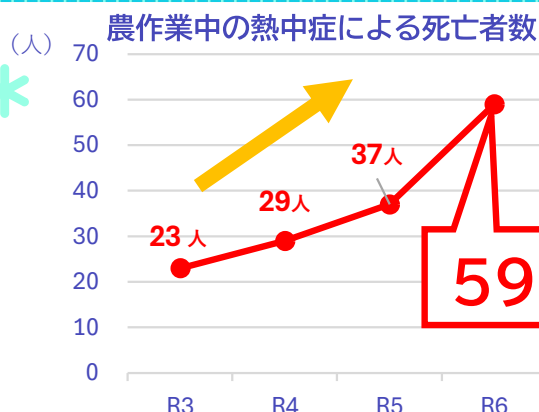


農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

熱中症等による死亡事故が急増しています！
4月1日～6月30日は熱中症等対策研修強化期間です。
各地域で開催される研修に参加しましょう！

* 農作業中の熱中症が急増 *

- 近年、農作業中の熱中症による死亡者は急増しています。
- このうち、約85%が7～8月に発生しています。



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう！



もっと
知りたい!!

熱中症対策

* 熱中症対策アイテム * *

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、
ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際
のリスクを回避したいときに
活躍



ウェアラブル端末、
応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩
の質を高めたいときに活躍



ミストファン

* 熱中症が疑われる場合には * *

01 作業を中断



(代表的な症状)

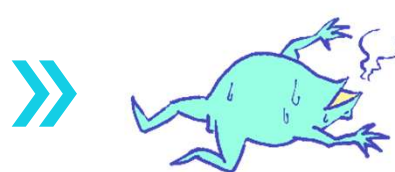
- 汗をかかない、体が熱い
- めまい、吐き気、頭痛
- 倦怠感、判断力低下

02 応急処置



- 涼しい環境へ避難
- 衣服をゆるめ体を冷やす
- 水分・塩分を補給

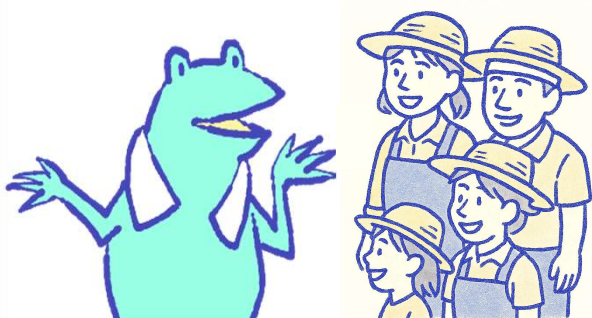
03 病院へ



応急処置をしても症状が改善
しない場合は医療機関で診療
を受けましょう!!

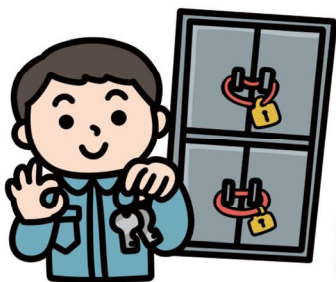
7月～9月は“夏の熱中症等対策声かけ期間”

キャッチフレーズ:いのちをうばう、夏のひとり作業



農作業中の熱中症死亡事故の
多くは1人作業で発生しています。
大切な人の命を守るため、
家族や地域で声をかけあいましょう!

誤飲を防ぐため、**施錠**された
場所に保管する等**保管管理の徹底**



誤飲防止のため
移し替えは**厳禁**！

確認しよう！**農薬ラベル**による
使用基準の**徹底確認**



使用前に必ずラベルで
作物名・使用方法・防護装備の
確認をしましょう！



〇〇×× 剤		農林水産省登録番号 00000 号		
有効成分		●●●●●●●● 40%		
作物名	適用時期	使用回数	使用回数	使用方法
〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	2000 回	2000 回	〇〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	2000 回	2000 回	〇〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	1500 回	1500 回	〇〇〇〇



土壌くん蒸剤を使用した
後の**適切な管理の徹底**

看板の設置等
周囲に**配慮**

土壌くん蒸剤
立ち入り**禁止**



住宅地等で農薬を使用する
際の**周辺への配慮**及び
飛散防止対策の徹底

近隣住民への
事前告知



農薬散布は
無風または
風が弱い時に
しましょう！



正しく扱うことが
一番お得です！

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

農薬の適正使用 農林水産省

検索



令和 8 年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

農薬ラベルに記載されている
安全使用上の注意または
被害防止方法を確認しましょう



作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	Aを含む 農薬の 総使用回数	被害防止 方法
稲	コブノメイガ	1000倍	60～ 150 L/10a	収穫 21 日前 まで	3回 以内	散布	3回 以内	使用者： 長スボン・ 長袖の 作業衣
	ツマグロヨコ バイ ウンカ類 イナゴ類 イネドロ オイムシ	1000倍～ 2000倍						
	カメムシ類	2000倍						



農薬散布時は、薬剤の直接付着や吸い込みを防ぐため、
適切な防護装備を着用することが最重要です。

その装備、準備バツチリ？

- ✓ 保護メガネ
- ✓ 農薬用マスク
- ✓ 不浸透性防除衣
- ✓ 不浸透性手袋
- ✓ 長靴

使用後は直ちに着替え、衣服を洗濯し、手洗い・うがい・入浴を徹底してください。

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

農薬の適正使用 農林水産省

検索



令和 8 年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

人々の命に通う まことの農を求めて

教育目標

農業・農村が必要とする高度な専門的知識と技術、幅広い教養、国際性を身につけた有能な農業の担い手となり、地域社会を発展させる上でのリーダー的役割を担う農業青年を育成します。

特徴的な教育

実践教育

授業の50%以上が専門的実習

- 理論と技術を一体的に学び、農業技術と経営能力を高めます。
- GAP(農業生産工程管理)の実績により、経営改善を図る農業者育成を目指します。

先進教育

国内外の先端農業を学ぶ

- 農業のグローバル化や経営の専門化に対応する力を育成します。
- ICTを活用した省力・高品質生産を実現するスマート農業を学びます。

全寮教育

寮生活で生涯の仲間づくり

- 寮教育を通じて多くの仲間との交流を深め、協調性と自律性、コミュニケーション能力を高めます。

カリキュラム

科目		第1学年		第2学年	
共通履修科目	教養科目	外国語Ⅰ／農業情報システム／農業基礎／保健体育／基礎数学／教養基礎演習／くらしと心理／くらしと経済・法律／基礎化学／基礎生物		外国語Ⅱ	
	専門科目	農業経営／農村社会・生活／農業気象／土壌学／肥料学／農業機械／農業機械実習Ⅰ・Ⅱ／農家派遣実習／GAP概論／作物学汎論／野菜栽培汎論／果樹栽培汎論／花き栽培汎論／畜産概論／毒物劇物／危険物		農政概論／スマート農業／海外農業研修／国際農業／農業機械実習Ⅲ	
学科別履修科目	学科専門科目	農産園芸学科	畜産学科	農産園芸学科	畜産学科
	経営科専門科目	農産物加工概論／作物生理／応用昆虫学／植物病理学	家畜栄養／家畜生理／飼料作物／畜産経営	農産物流通／農業簿記／作物増殖／作物と環境保全	畜産物流通／畜産簿記／畜産物加工／畜産と環境保全／生物工学(動物)／家畜育種・改良／家畜解剖・実験／家畜繁殖／家畜衛生／畜産経営管理
		水稻栽培Ⅰ／畑作物栽培Ⅰ／野菜栽培Ⅰ／果樹栽培Ⅰ／花き栽培Ⅰ／フラワーデザインⅠ／専攻実習Ⅰ	家畜飼養管理Ⅰ／専攻実習Ⅰ	水稻栽培Ⅱ／畑作物栽培Ⅱ／農産経営管理／野菜栽培Ⅱ／野菜経営管理／果樹栽培Ⅱ／果樹経営管理／花き栽培Ⅱ／花き経営管理／フラワーデザインⅡ／農産加工実習／専攻実習Ⅱ／卒業研究	家畜飼養管理Ⅱ／専攻実習Ⅱ／卒業研究

【野菜経営科1年】

一週間の時間割例

時限	月	火	水	木	金
1	専攻実習Ⅰ	野菜栽培Ⅰ	土壌学	専攻実習Ⅰ	農業基礎
2		基礎化学・生物	GAP概論	外国語Ⅰ	基礎数学
3	応用昆虫学	専攻実習Ⅰ	毒物劇物	農業機械	保健体育
4				毒物劇物	

【野菜経営科2年】

一週間の時間割例

時限	月	火	水	木	金
1	専攻実習Ⅱ	農業簿記	野菜栽培Ⅱ		農産物流通
2				スマート農業	野菜経営管理
3	農政概論	専攻実習Ⅱ			農政概論
4					専攻実習Ⅱ

◆本校は、学校教育法に基づく専修学校として位置づけられ、以下の称号・受験資格を得ることができます。

- 1 卒業生は「専門士(農業専門課程)」の称号が与えられます。
- 2 四年制大学への編入学試験を受験することができます。

修学に必要な経費

1. 授業料・経費等 (年間)

学年	入学料	授業料	教材費等	寮費(食費含む)	計
1年次	5,650円	118,800円	306,000円～356,000円	544,000円	974,450円～1,024,450円
2年次	-----	118,800円	288,500円～418,500円	481,500円	888,800円～1,018,800円

※上記は、令和8年度の経費です。年度で若干変更することがあります。

※教材費は、経営科によって異なります。

※海外農業研修にかかる経費は、別途徴収となります。

※以下に該当する方は、入学料及び授業料が免除となる場合がありますので、ご相談ください。

- ①平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波または令和7年2月26日に発生した強風による災害により甚大な被害を受けたと認められた方
- ②大学等における修学支援に関する法律による認定(授業料等減免対象者の認定)の申請をした方(日本学生支援機構の給付奨学金を申請した方が該当)

2. 新規就農者育成総合対策(就農準備資金)について

本校を卒業後、1年以内に農業経営を開始する又は農産物を生産する会社に勤める等、条件を満たす場合は新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の給付を在学中に受けることができます。(年間最大165万円)

3. 日本学生支援機構奨学金について

日本学生支援機構の奨学金を利用することができます。

研修科

- ・農業者・就農希望者等を対象にした研修を行い、技術力・経営力の向上を図ります。
- ・県民の皆さんに花とふれあう場、農業体験の場を提供し、農業への理解を促進します。

- 【研修内容】
- 新規就農者研修
 - 農業経営発展研修
 - いわてグリーン農業アカデミー
 - 農業機械研修
 - 農業体験研修
 - 花きふれあい研修



新規就農者研修



いわてグリーン農業アカデミー



農業体験研修



花きふれあい研修

アクセス

- JR六原駅からタクシーで10分
- 東北自動車道北上金ケ崎インターチェンジから車で5分



岩手農大を まるごと体験しよう!

令和8年度オープンキャンパス

第1回 令和8年7月31日(金)

第2回 令和8年8月1日(土)

◆申込は農大事務局(0197-43-2211)まで

農大祭2026

令和8年10月24日(土)・25日(日)

卒業研究成果全体発表会

令和8年12月16日(水)

利用区分ごと敷地面積

宅地	19.5ha	水田	26.7ha
畑	235.8ha(含牧草地等)	林地等	26ha
		合計	308ha



岩手県立農業大学校

〒029-4501 岩手県胆沢郡金ケ崎町六原蟹子沢14
TEL 0197-43-2211 FAX 0197-43-3184

学生募集や大学生活等に関する質問など、お気軽にお問い合わせください。

■受付時間 8:30~17:15(土日祝日・年末年始を除く)



HP



instagram

令和8年度

新鮮いわて農業チャレンジ体験研修 参加者募集！

参加費
無料

実施期間

令和8年5月11日（月）～令和8年12月18日（金）

本研修は、岩手県内の様々な農業法人等で、最長5日間、農業体験ができます。

2つのコースからお選びください。

県外から参加する方に
宿泊費助成
※要件あり

農業に関心がある方・
農作業体験を希望する方向け
チャレンジコース
1～2日・定員20名

岩手県内で就農等を考えている方・
研修先や雇用就農先を探している方向け
インターンシップコース
2～5日間・定員10名

※1 対象者は概ね50歳まで ※2 定員は先着順 ※3 複数回申し込み希望の方は要相談

- 1 株式会社いわて若江農園(盛岡市・野菜(トマト))
- 2 キートスファーム株式会社(盛岡市・野菜(ねぎ、サツマイモ))
- 3 農事組合法人となん(盛岡市・水稻、畑作物、野菜、果樹等)
- 4 朝島観光りんご園(盛岡市・果樹(りんご、桃、梨))
- 5 澤口聡(盛岡市・水稻、野菜(きゅうり、ミニトマト))
- 6 株式会社T&Gバイオナーサリー(花巻市・花き(りんどう))
- 7 有限会社岩手園芸(花巻市・花き(鉢もの:りんどう、シクラメン等))
- 8 花巻市葡萄が丘農業研究所(花巻市・果樹(ぶどう))
- 9 株式会社耕野(花巻市・水稻、野菜(サンチュ、みつば、キャベツ))
- 10 クレアクロップス株式会社(北上市・野菜(かぼちゃ))
- 11 株式会社さらき(北上市・水稻、果樹(りんご)、野菜(玉ねぎ))
- 12 株式会社ヤマト農産(北上市・野菜(ねぎ、ミニトマト))
- 13 農事組合法人宮守川上流生産組合(遠野市・水稻、畑作物、野菜等)
- 14 有限会社かさい農産(一関市・野菜(小松菜、にんじん等))
- 15 合同会社みのり風土(八幡平市・野菜(九条ねぎ))
- 16 農事組合法人大石平農園(八幡平市・花き(りんどう))
- 17 株式会社五十嵐ファーム(奥州市・野菜(ピーマン、小松菜))
- 18 浅利園(滝沢市・野菜(ミニトマト、かぶ、プチヴェール、にんにく))
- 19 宮林野菜園(滝沢市・野菜(きゅうり、長芋、ブロッコリー等))
- 20 株式会社高橋農園(紫波町・水稻、野菜(ジャガイモ))
- 21 株式会社紫波フルーツパーク(紫波町・果樹(ぶどう))
- 22 株式会社いわき農園(山田町・野菜(ブロッコリー、にんじん等))
- 23 株式会社ナインズファーム(九戸村・野菜(ピーマン、ミニトマト))
- 24 株式会社一戸夢ファーム(一戸町・野菜(トマト))

充実の研修先！



詳しくはHPで↓

※令和8年4月1日現在(随時更新します)

右記の岩手県農業公社ホームページで募集事項を確認し、**希望日の**

14日前までに、「申込書」を郵便、Eメール、FAXのいずれかで提出してください。

お申込み・お問い合わせ

公益社団法人岩手県農業公社 就農支援部(担当:小笠原)

【TEL】019(623)9390 【FAX】019(623)9396 【E-mail】ninaite@i-agri.or.jp



令和8年度「新鮮いわて農業チャレンジ体験研修」申込書

1 希望する研修

コース名	<input type="checkbox"/> チャレンジコース（1日（県外者の場合2日も可）） <input type="checkbox"/> インターンシップコース（2～5日間、最長5日間）
希望研修先	第1希望 _____（研修先 No. _____） 第2希望 _____（研修先 No. _____）
希望日	第1希望 令和__年__月__日からの__日間 第2希望 令和__年__月__日からの__日間
宿泊希望の有無	岩手県外者のみ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（__月__日から__月__日まで） ※ 宿泊費の助成は、研修前日から研修最終日までの期間とします。
希望理由	より効果的な研修の実施のため、詳細にご記入ください。
交通手段	自宅もしくは宿泊先から研修先までの交通手段 <input type="checkbox"/> 有（_____） <input type="checkbox"/> 無
その他・特筆事項	確認したいことがあれば記入してください

2 申込者（以下に記入いただく個人情報は、本研修以外には使用しません。）

フリガナ		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
氏名		生年月日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 ____年__月__日
現住所	〒		
連絡先	連絡が取りやすい 電話番号		
	E-mail アドレス	添付ファイルが受信可能なメールアドレスをご記入ください。	
現在の職業			
健康状態	研修の際、注意することなどがあれば記入してください。		
農業経験の程度	<input type="checkbox"/> 経験がない <input type="checkbox"/> 実家が農家 <input type="checkbox"/> 農家の手伝い <input type="checkbox"/> 学校の実習 <input type="checkbox"/> 家庭菜園 <input type="checkbox"/> 農業研修中 <input type="checkbox"/> 農業法人等での勤務 <input type="checkbox"/> 当公社の体験研修 <input type="checkbox"/> 当公社以外の研修 <input type="checkbox"/> その他（具体的に） 〔 _____ 〕		

3 当公社の就農情報等のメールマガジン（月1回程度）の配信 希望します 希望しません当公社からのイベントや研修会等の開催案内を送付 送付可 送付不可

お問い合わせやお申込みは・・・

公益社団法人岩手県農業公社 就農支援部（担当：小笠原）

〒020-0884 岩手県盛岡市神明町7-5 パルソビル3階

【TEL】019 (623) 9390 【FAX】019 (623) 9396 【E-mail】ninaite@i-agri.or.jp